

# 青指ニュース

第 147 号  
 発行者  
 河内長野市青少年指導員連絡協議会  
 広報部

<http://www.kawachinagano-seisyonen.org/~seishikyo/>



## 平成27年度総会が開催されました！ (4月15日)

まず、芝田市長から、今回退任された方々への感謝状が（代表して西端氏が受領）、続いて今期委嘱者へ委嘱状が交付されました。（代表して大導寺氏が受領）

市長は、長年青指活動を努めた方々への感謝を述べられるとともに、「みんなでいっしょに作るまちをキーワードとして、参加型で住みよいまち作りをいっしょにやっていきたい」とあいさつされました。和田教育長は、青指活動が地域での子どもの育みとなっていることへのお礼と、近年脆弱になってきている放課後の子どもの育ちへの対応をなんとかしなければならぬ、そのためにぜひともご協力を、と話されました。

議題である 26 年度の決算と事業報告、勇川会長

以下の役員全員の継続が承認されるとともに、27年度の予算と事業計画も滞りなく承認されました。

今年度は新人 6 名を含め 84 名の体制でスタートすることに決まりました。また、事務局の青少年育成課の方々の異動も紹介されました。これまで青指を担当してくださった皆さんお世話になりありがとうございました。



## 河内長野市教育講演会 (1月17日)

美加の台小学校から「地域人材の拡大と継続について」、天見小学校からは「地域性を活かした取組みと課題について」の実践発表がありました。

続いて、貝ノ瀬 滋氏による『学校・家庭・地域の協働による学力向上のキーワード』の講演です。

貝ノ瀬氏は小・中一貫校、コミュニティ・スクールの先進地区として知られる三鷹市の教育改革を校長として実践、教育長として改革を推進してこられました。

講演では、コミュニティ・スクールが発展することで、スクール・コミュニティ（学校を核とした地

域社会）が創られる。学校と地域が学び合い、互いに成長していくことが地域の活性化につながるということ。「いい学校がいい地域をつくる、いい地域がいい学校をつくる」の言葉がとても印象的でした。



## 青指運動会開催 (2月8日)

長野小学校で青指運動会が開催されました。

準備体操では、ラジオ体操の資格を持つ方と一緒に、第一、第二体操をしました。青指の参加者も身体を動かす事が少なくなっているようで、後ろから見てみると腕が真っ直ぐと伸びておらず、曲がって

いたり「ふうふう」と息を切らしている声が聞こえていました。競技は7種目用意してくれていました。チームは、イエロー、グリーン、レッド、ブルーの4組に分かれて各種目ごとに点数を付けて、合計得点数が多いチームが優勝となるように競い合っていました。

どの種目もわくわくする趣向でしたが、中でも玉入れ競争や、パン食い競争、スリーアイズが盛り上がっていました。

学生時代とは違い、身体にしなやかさが欠けて転んだり、ずる賢いプレイをしたりと大人ならではの運動会でした。

スリーアイズとは9マスの枠の中に、ボールを投げたり転がしたりして、ビンゴのようにボールを並べて得点を競う種目ですが、誰でも易しく参加できます。一投ずつ投げてチーム感が増し親睦も一段と深まりました。

楽しい運動会の準備をして下さった研修部の皆様、お手伝いや盛り上げてくれたリーパルの皆様、参

加をして下さった青指の皆様 たいへんお疲れ様でした。



## 平成26年度南河内ブロック研修講演会開催 (3月1日)

テーマは「薬物依存およびその回復支援について」  
講師は大阪ダルク(薬物依存症者の回復支援施設で全国に60カ所近くある)センター長 倉田 めば氏。  
薬物乱用3つの落とし穴として

- ①自分は絶対使うわけがない
- ②合法的なものであれば問題ない
- ③薬物を使ってもすぐやめられる、等の意識があり

\*最近では従来の薬物(覚せい剤・大麻・シンナー・睡眠薬)に加えて「危険ドラッグ」が蔓延し回復支援を複雑にしている。

\*一旦薬物依存に陥ると抜け出すのは容易でない。

\*特に危険ドラッグは使用量と症状の把握が難しく死者数も急増している・・・平成12年 8人→平成14年 112人

等々、講師の実体験に基づいた生々しく且つ迫力ある講義内容で、薬物依存の深刻さがよく理解でき大変有意義でした。

場所は千早赤阪村くすのきホール、青指協より17名参加しました。



## 「高野街道ウォーク」開催 (3月22日)

コースは長野神社 9時30分スタート⇒天野酒西條蔵(西條社長より天野酒の由來說明)⇒烏帽子形八幡神社(青指池西氏解説)⇒ふるさと歴史学習館(こどもたちによる作品作成)⇒花の文化園(研修部で準備したアルファ米と唐揚げで昼食)⇒くろまるの郷⇒(南海バス)⇒河内長野駅前(PM3時30分)で解散しました。

連日寒い日や雨が続いてましたので天候が心配されましたが、当日は天候にも恵まれ、テーマ・・・「好きやねん河内長野」～春の一日親子でのんびりハイキング～・・・テーマ通りの楽しい一日とな

りました。一般参加者104名・リーパル・青指含めて総勢144名参加の大盛況でした。



# 子育て・孫育てフェスタ (3月29日)

親力UP! をコンセプトに親力推進協議会主催のオープニングイベントがキックス4階で開催されました。

社会教育委員会議に関わる団体が一同にパネル展示と多種の講座を提供し、つながり合い子育てを支援します。

青指とリーパルは、バルーンアートとあいさつマイスターを担当、たくさんの親子との交流の時間が持てました。子どもは地域の宝! みんなで大切に育ち合いましょう!

参加者、スタッフ合わせて 300 名



## 千代田中学校区

### 楽習室「フラネタリウムとアニメ上映」

2月22日(日)

26年度青指担当の最後の楽習室です。

12月に研修部「ものづくり研修」で教わった、フラネタリウム作りを1部で行いました。

今回、研修に参加して色々とおわかった事があり、一部のみスタッフで手を加えました。

参加児童はどんな物が出来るのか、わくわくしながら一つ一つのパーツを組み合わせて作り上げました。部屋を暗くしてライトを点けると色々な模様が

壁や天井に写るのを見て歓声を上げていました。2部でアニメ上映。

場所：鳴尾自治会館、時間：午前と午後2回  
参加者は千代田小学校：児童10名、保護者2名  
楠小学校：児童13名、スタッフ9名



## 南花台中学校区

### ウォークラリー開催 3月21日(土)

今年は天候にも恵まれ202名の参加を得て開催されました。例年、青指はゲームの担当ですが、今年度はゴールの南花台小学校であてものをしました。子ども達はあてたおもちゃで早速遊び始め、表彰式までの時間を退屈せずに過ごしたようでした。



### 楽習室「いちご大福づくり」

4月18日(土)

南花台小学校家庭科室で今年もいちご大福づくりの楽習室を開催しました。

今回の参加者は93名。9時と11時の2部構成でしたが、2回に分けても教室はいっぱいの状態でした。

昨年に続き、9名の中学生が先生とともにサポーターとして参加。今年子ども達のサポートだけでなく、電子レンジでもち作りを手伝ってもらったりと昨年より一段階レベルアップ。頼もしい助っ人の登場です。



# 長野中学校区

## 「みんなのスポーツフェスタ 2015」開催

3月15日(日)

今年も長野中学校において『みんなのスポーツフェスタ2015』[主催:長野総合スポーツクラブ]が開催されました。

日頃の練習の成果を発表する人たちや純粋にゲームを楽しむ人たちの中、長中校区の青指のメンバ

ーは恒例となった焼きそばとジュースの販売により参加者のお腹を満たすという形で協力をしました。

終わりがけに少し雨も降りましたがほぼ全食を売り切ることができ、また西中校区、千代田中校区の方も応援に駆け付けていただき、心地よい疲労感のなかで終えることができました。

ありがとうございました。



# 西中学校区

## 第16回「西中交流会」開催

3月28日(土)

春休み恒例となりましたが、校区内小学校(高向・天野)5・6年生と、西中学校1年生の希望者がいろんな取組をしながら親睦を深め、中学校入学時の不安を取り去ること、小学生最後の思い出づくりを目的にしています。テーマは～「まあゆっくり楽しんでね」～です。

例年「滝畑ふるさと文化財の森センター」で1泊2日の開催でしたが、現在改装中ということで今年は西中体育館と調理室を借りて実施しましたが、今年の参加者は22名と少なく、やっぱり宿泊しないと魅力不足かな?と感じました。

しかしリーパルによるゲームや、特にソース作りから始めて自分達でーから作ったハンバーグは大変好評で、天候にも恵まれて賑やかに開催できました。



# 美加の台中学校区

## テラコッタドールコンテスト

12月14日(日)

河内長野市市制施行六十周年・奥河内くろまるの郷オープン記念「テラコッタドールコンテスト」が開催されることになり、美加の台校区からも参加することになりました。

11月22日(土)に小学校の裏庭で作製しました。当日は、汗ばむくらいの好天に恵まれ、家族(子ども2人)も参加し、午前中に作り上げました。

12月14日に花の文化園に持ち込みました。コンテストの結果は、なんと一般の部「優秀賞」を受賞しました。参加したみなさん、お疲れ様でした。

## ノーベル賞に挑戦!好きな色に光るLEDをつくろう

2月7日(土)

第10回となった楽習室は、中学校の技術の先生が講師を務め、フルカラーLEDを使って好みの色に光るオリジナルLEDを作りました。

将来の科学者を目指す?子どもたちに加え、大人も挑戦しましたが、ハンダ付け等思いのほか難しく、苦勞して出来上がったLEDに大満足な一日でした。

